

第9回 出雲市・斐川町合併協議会 会 議 録

日 時：平成23年6月9日（木）13時30分から

場 所：出雲市役所 くにびき大ホール

1 会議の名称等

会議名	第9回出雲市・斐川町合併協議会					
開催日時	平成23年6月9日(木) 13時30分～14時32分					
開催場所	出雲市役所 くにびき大ホール					
出席状況	委員総数	16名	出席委員数	13名	会議の成否	成
会議録署名委員	寺田 昌弘委員(出雲市)			下手 泰子委員(斐川町)		

2 会議の出席者

(1) 委員等

所属	出雲市	斐川町
市長・町長	◎ 長岡 秀人	○ 勝部 勝明
議長	宮本 享	多々納 弘
議員	寺田 昌弘	井上 恵夫
	(欠席)	坪田 揚子
学識経験者	萬代 宣雄	周藤 昌夫
	(欠席)	岡 正明
	武田 睦弘	須田 日出男
	松浦 剛司	昌子 好見
	(欠席)	下手 泰子

◎ 会長、○ 副会長

※欠席：福代秀洋委員(出雲市)、江田小鷹委員(出雲市)、渡部美知子委員(出雲市)

所属	氏名	職名
出雲市	勝部 一郎	監査委員
斐川町	小村 克利	監査委員

(2) 幹事会等

所属	氏名	職名
出雲市	◎ 黒目 俊策	副市長
	河内 幸男	副市長
	伊藤 功	総合政策部長
斐川町	○ 高田 茂明	副町長
	持田 幹男	参事

◎ 幹事長、○ 副幹事長

所 属	氏 名	職 名
出 雲 市	中 尾 一 彦	教 育 長

(3) 事務局職員

役 職	氏 名	所 属	備 考
事 務 局 長	浅 津 彰 敏	出 雲 市	総 括
参 与	奈 良 井 浩 人	島 根 県	専 門 的 助 言 ・ 調 整
事 務 局 次 長	今 岡 範 夫	出 雲 市	(調 整 1 班 班 長 兼 務) 総 務 ・ 企 画 、 財 政 、 議 会 、 消 防 関 係
	建 部 敏 紀	斐 川 町	(調 整 2 班 班 長 兼 務) 住 民 ・ 福 祉 、 教 育 ・ 文 化 、 産 業 、 建 設 ・ 上 下 水 道 関 係
総 務 班 班 長	三 浦 俊 明	出 雲 市	基 本 計 画 、 財 政 計 画 、 会 議 運 営 、 庶 務 ・ 広 報
調 整 1 班 班 員	周 藤 学	斐 川 町	
調 整 2 班 班 員	園 山 博 之	出 雲 市	

(4) ワーキンググループ等

所属等	氏 名
組織・人事ワーキンググループリーダー (出雲市人事課長)	高 見 英 明
財政プロジェクトリーダー (出雲市財政部次長)	坂 本 隆
電算プロジェクトリーダー (出雲市情報管理センター長)	池 内 雅 亮
電算プロジェクトサブリーダー (斐川町総務課係長)	三 代 均
電算プロジェクト (出雲市情報管理センター副センター長)	尾 崎 康 成
電算プロジェクト (出雲市情報管理センター係長)	安 食 和 彦

3 議題

開 会

1 会長あいさつ

2 会議録署名委員の指名について

3 議事

(1) 報告事項

報告第11号 合併協定調印後の合併に係る経緯及び総務省告示について

報告第12号 専決処分について（平成23年度出雲市・斐川町合併協議会予算）

報告第13号 合併準備作業について

(2) 議案事項

議案第64号 平成22年度出雲市・斐川町合併協議会事業報告及び歳入歳出決算について

4 その他

・出雲市議会議員増員選挙（斐川町の区域の選挙区）の選挙期日の予定日

閉 会

4 議事の要旨

別添資料及び次のとおり。

開 会

[奈良井参与]（司会・進行）

ご案内の時間がまいりましたので、ただいまから第9回出雲市・斐川町合併協議会を開会いたします。

本日の進行役を務めさせていただきます、事務局の奈良井と申します。よろしくお願いたします。

本日の会議は、委員16名中13名のご出席でございますので、出雲市・斐川町合併協議会規約第10条第1項の規定により、会議が成立しておりますことを報告いたします。

はじめに、会議資料の確認をいただきたいと思います。本日の会議は、事前にお配りした「第9回出雲市・斐川町合併協議会 会議資料」により進めさせていただきます。お手元にごございますでしょうか。

～確認～

次に、合併協議会委員の交代につきまして報告申し上げます。

お手元の会議資料の2ページをご覧ください。

本日から新たにお出かけいただいた委員の皆さまには、お名前の右に（新）と記載しております。

出雲市から宮本享議長さま、斐川町から多々納弘議長さま、井上恵夫副議長さま、坪田揚子議員さまに新たに協議会委員としてお出かけいただきますので報告いたします。一言ずつあいさつをいただきます。

[宮本委員]

出雲市の宮本でございます。よろしくお願いいたします。

[多々納委員]

斐川町の多々納でございます。実は1回から8回までは委員として出かけておりました。今日は議長という立場で出かけさせていただきます。よろしくお願いいたします。

[井上委員]

井上でございます。斐川の副議長として今回始めて出かけさせていただきます。当初から合併推進の立場でみなさんにいろいろお世話になり、ありがとうございました。

[坪田委員]

初めてこちらの席に座らせていただきます坪田でございます。今まではあちらで傍聴させていただいておりました。合併を進めてまいりまして、やっとたどり着いたというところです。みなさん、どうぞよろしく願います。

[奈良井参与]

ありがとうございました。

なお、幹事会の構成も変更がございます。2ページの下の方に名簿を載せております。斐川町の高田副町長が副幹事長に、持田参事が新たに幹事となりましたのであわせて報告いたします。

ここで、長岡会長からあいさつを受けたいと思います。

1 会長あいさつ

[長岡会長]

大変お忙しい中、第9回の出雲市・斐川町合併協議会にお出かけいただき、ありがとうございます。

前回の第8回を昨年の11月に開催して以来、久しぶりの開催ということですが、その間、それぞれの議会において合併関連の議決をいただきまして、最終的に3月31日に総務大臣告示という形で、合併が成立したということでございます。

なお、斐川町におかれましては4月の統一地方選後半の部で勝部町長が再選されまして、議会のみなさんも新しいメンバーで出発ということでございます。

先ほど、ご紹介がございましたが、両議長さんはじめ新しく委員に就任いただきました皆さま、どうぞよろしく願います。

10月1日の合併に向けて、余すところ114日ということございまして、町長さんと一緒に合併に向けての諸準備を進めているところでございます。当初少し心配しておりました電算統合の問題も含めて、想定していたよりも順調に進んでいるところでございますが、まだまだ最終的に詰めていかねばならない事項もたくさんございます。10月の新市の発足が順調に円滑にいくように、さらに努力をし、今回の合併が斐川町のみなさんにとっても、また出雲市民にとっても本当に素晴らしい合併であったというような合併に向けて、これからも努力をしてみたいと思っておりますので、どうぞよろしく願います。

今日は、その間の様々な事務処理に関わる報告事項、そして1点議案がございますが、これからの運営についてご協力いただきますようあらためてお願い申し上げまして、開会にあったってのあいさつとさせていただきます。どうぞよろしく願います。

[奈良井参与]

ありがとうございました。

ここからの進行は長岡会長お願い致します。

2 会議録署名委員の指名について

[長岡議長]

それでは、進行をさせていただきます。

最初に、会議録署名委員につきまして、私が指名させていただきます。会議資料4ページをお開きください。第1回協議会でご承認いただきました会議録署名委員の指名についての取り決めによりまして、本日は、出雲市議会議員 寺田昌弘委員と、斐川町学識経験委員 下手泰子委員をお願いしたいと思います。よろしく願います。

3 議事

(1) 報告事項

- 報告第11号 合併協定調印後の合併に係る経緯及び総務省告示について
- 報告第12号 専決処分について（平成23年度出雲市・斐川町合併協議会予算）
- 報告第13号 合併準備作業について

[長岡議長]

それでは、さっそく議事に入ります。最初に報告事項でございます。

はじめに、報告第11号 合併協定調印後の合併に係る経緯及び総務省告示について、事務局から説明願います。

[浅津事務局長]

～報告第11号について説明～

[長岡議長]

ただいまの報告第11号につきまして、ご質問等ございましたらお願いします。

～質疑無し～

[長岡議長]

無いようでございます。続いて報告第12号 専決処分について、事務局から説明願います。

[三浦班長]

～報告第12号について説明～

[長岡議長]

説明のありました報告第12号につきまして、ご質問等ございましたらお願いします。

～質疑無し～

[長岡議長]

無いようでございますので、報告第12号 専決処分について、ご承認いただけます方は挙手をお願いします。

～挙手（賛成13、反対0）～

[長岡議長]

報告第12号 平成23年度出雲市・斐川町合併協議会予算の専決処分については、全会一致で承認いただきました。

続いて、報告第13号 合併準備作業についてでございますが、内容が多岐にわたりますので区切らせていただきます。始めに26ページまで、「斐川地域自治区・地域協議会の設置準備」までを事務局から説明した後、質疑をいただきたいと思っております。26ページまでの説明を事務局願います。

[今岡事務局次長]

～報告第13号の19ページから23ページまでを説明～

[建部事務局次長]

～報告第13号の24ページから26ページまでを説明～

[長岡議長]

報告第13号の内、20ページから26ページまでのところで、ご質問ご意見ございましたらお願いします。

[須田委員]

斐川地域自治区、地域協議会の事ですが、支所は、まちづくりについてどういう役割を担うものですか。地域協議会はわかる気がしますが、支所はどのような位置づけになるのでしょうか。

単純に行政事務だけなのか、ある程度地域の事が分かっているのか、地域協議会と一緒にやってやるのか。また、公民館の役割の中で、支所というのはどのような位置づけでしょうか。

[今岡事務局次長]

支所と地域自治区の事務所の違いは何かということでしょうか。

[須田委員]

そうですね。役割がどのような性格のものなのかということですか。

[今岡事務局次長]

支所は行政の責任を執行する場ということで、税金、住民登録、福祉、道路や水道などの維持管理といった事務事業を執り行うこととなります。地域自治区の事務所については、地域自治区が主体的に取り組む自治区内のまちづくりや環境美化活動、防犯活動、イベントなどの事業を行うということで、区別すればそういう形で区別はできますが、当然、自治区の区域が今の斐川町の区域と一緒にということになりますので、一体のものとして考えております。

[須田委員]

そうすると地域協議会は、どこに所属するのですか。支所と並列するのですか。出雲市の行政組織の中で、どこに所属するのでしょうか。

[今岡事務局次長]

支所と地域自治区の事務所は同じで、組織的には斐川地域で行う地域協議会の事務局が斐川支所であり、地域自治区の事務所ということですか。

[須田委員]

出雲市全体の地域協議会があると思いますが、その中の一つが斐川地域協議会ということですか。

[今岡事務局次長]

出雲市全体の地域協議会というのはございません。旧出雲市の出雲地域協議会というのがございます。旧市町の区域毎に設置されており、それぞれが独立してやっているということですか。

[須田委員]

支所は、本来の事務取扱いだけなのですか。まちづくりといった事に対する権限とか、ものを進めていくような役割は組織的に無いのでしょうか。

[今岡事務局次長]

斐川地域協議会のまちづくり計画を取りまとめていく事務局になります。

[長岡議長]

他に質問はありませんか。

それでは、続いて、27ページから31ページまでを事務局から説明願います。

[高見組織・人事ワーキンググループリーダー]

～報告第13号の27ページを説明～

[坂本財政プロジェクトリーダー]

～報告第13号の28ページを説明～

[池内電算プロジェクトリーダー]

～報告第13号の29ページから31ページまでを説明～

[長岡議長]

報告第13号の中で、27ページの「斐川支所の組織」から31ページ「電算システム統合作業」までのところで、何かご質問ご意見ございませんか。

[多々納委員]

27ページの斐川支所の組織案についてお尋ねします。

下水道関係、公共と農集を合わせたものですが、これを見ると下水道係は「公共下水道、農業集落排水使用料の賦課及び施設の維持管理に関する事」となっており、そうすると事業そのもの、斐川町でも農集はたくさん残っていますが、計画・設計・施工の段階はどこでやるのですか、本庁でやるのでしょうか。

[高見組織・人事ワーキンググループリーダー]

主な担当業務については、詳細のところが決まってない部分がありますが、基本的な考え方は、設計監理等については、だいたい本庁が担当するようになっています。一部、人員の関係等もあり、斐川の上下水道事務所で受け持つということも聞いております。詳細について、十分整理できていないところがあります。

[多々納委員]

道路の関係、建設課では工務係のところに「道路整備事業の計画・設計・施工」ときちんとうたってありますが、下水関係についてうたっていないということだと、現場で計画・設計・施工、その関係は道路と同じような考え方に立った方がより現実的ではないかと思えます。まだまだ農集が残っていると、これから計画・設計・施工しなければならない地域もたくさんあり、住民の関心も高いところでは。

[高見組織・人事ワーキンググループリーダー]

組織案ということでお示しているところでは、担当業務について担当課・担当ワーキングに聞きますと、本庁でやる部分、支所でやる部分、分担の調整がまだの部分がありますので、その点は支障が無いようにきちんと分担を決めてやっていくようになると思えます。担当業務に記載してある事項は完全なものではないところがありますので、その点ご理解いただきたいと思えます。その点は、今、十分協議をしているところでございます。

[多々納委員]

けっこうですが、今日の合併協の審議の後、全協で報告することになっております。必ず質問が出るとは思いますが、まだ、検討中ということでは、特に下水道関係に関心のある議員さん方は、道路はきちんとしているが、下水道はきちんとしていないということでは、少し整合性にも欠けるし、全協までに大方の方針ができるならお聞かせいただけると良いです。

[高見組織・人事ワーキンググループリーダー]

その点については、上下水道の担当者にも確認をして、現段階でどれだけ整理されているかということを確認のうえ報告したいと思えます。

[長岡議長]

今後詳細な詰めをしたうえで最終的に決めると、目安としての担当業務を並べてあるということでございます。

他にありませんか。

無いようでしたら、以上で報告事項を終わります。

(2) 議案事項

議案第64号 平成22年度出雲市・斐川町合併協議会事業報告及び歳入歳出決算について

[長岡議長]

続いて、議事の議案事項に入らせていただきます。

議案第64号 平成22年度出雲市・斐川町合併協議会事業報告及び歳入歳出決算について、事務局から説明願います。

[三浦班長]

～議案第64号について説明～

[長岡議長]

それではここで、平成22年度協議会の決算について監査を受けております。監査委員を代表して勝部一郎監査委員さんから監査報告をお願いします。

[勝部監査委員]

本協議会の監査委員をしております出雲市の勝部でございます。

去る5月24日、斐川町の小村監査委員と共に当協議会の平成22年度決算審査を行いましたので、その結果についてご報告申し上げます。

提出されました決算書及び付属書類については、関係諸帳票及び証拠書類と照合点検しました結果、計数的に正確であり、事務処理についても良好であることを認めたところでございます。

決算の状況ですが、先ほど説明があった通りでございますが、歳入決算額が9,199,570円でございます。これは両市町からの負担金と預金利子によるものでございます。一方、歳出決算額は6,231,744円で、主な内訳としましては、資料印刷等の事務所事務費、臨時職員雇用の経費負担金、また、協議会だより等の広報啓発費や住民説明会資料に係る基本計画作成費などがございます。この収支の差し引き額が2,967,826円となりまして、翌年度への繰越金となっております。

さて、いよいよ、10月1日には新しい出雲市が誕生することとなりました。事務局におかれましては滞りなく準備作業が進みますよう、一層のご尽力をお願いいたしまして、簡単ではございますが、審査報告と致します。

[長岡議長]

ありがとうございました。議案第64号について、何かご質問ご意見ございましたらお願いします。

～質疑無し～

[長岡議長]

無いようでしたら、議案第64号について、原案のとおりお認めいただける方は挙手をお願いします。

～挙手（賛成13、反対0）～

[長岡議長]

挙手全員であります。よって議案第64号 平成22年度出雲市・斐川町合併協議会事業報告及び歳入歳出決算については、原案の通り認定されました。

以上で議事を終わります。

4 その他

[長岡議長]

次第の4、その他でございます。事務局から説明願います。

[浅津事務局長]

～出雲市議会議員増員選挙の選挙期日の予定日について説明～

[長岡議長]

増員選挙の予定についての報告でございました。

この件について、あるいは全体を通して何かご意見等ございましたらお願いします。

～質疑無し～

閉 会

[長岡議長]

無いようでございますので、以上をもちまして、第9回 出雲市・斐川町合併協議会を閉会いたします。

10月1日の合併まで、冒頭申しますように残り114日でございます。

この次は、8月頃に最終の合併協議会を開催し、合併準備作業の状況等の報告をしたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

委員の皆さま方には、たいへん慎重なご審議を賜りまして、まことにありがとうございました。

以 上

会 議 録 署 名 人

委 員

寺 田 昌 弘

委 員

下 守 泰 子
